平成27年度「歴史と環境を学ぶ会」の事業報告

7月11日（土）に毎年恒例の「歴史と環境を学ぶ会」を開催しました。

本年度は、岡山県の社寺及び町並みの中から岡山市・総社市内の国宝・重文を見学し、歴史的文化の跡地・公園とその周辺環境との調和を楽しみました。

神戸市役所北側花時計前からバスで出発しました。交通状況により山陽道へ乗り、、午前中は備中高松城跡を見学しました。

資料館で写真やビデオなどを見せてもらい、ボランティアの方に詳しく説明して頂きました。その後 本丸跡へ行き、清水宗治首塚・辞世の歌碑を見学しました。さらにバスで移動し、今度は蛙ヶ鼻堰堤跡を見学に行きました。当時の土木工事技術に感嘆しました。

最上稲荷へ移動し昼食を終えた後、バスで宝福寺へ向かいました。宝福寺は 画匠「雪舟」がが幼少時代に修行した寺で、雪舟が流した涙を足の親指で描いたと言われる鼠の絵のエピソードが有名でした。また、三重塔は国の重要文化財となっています。

宝福寺 見学後、岡山県内唯一の五重塔 が境内にそびえる備中国分寺の見学に行きました。この寺は聖武天皇の発願により創建されましたが、建物は南北朝時代に焼失したと伝えられ、現在の建物は江戸時代中期以降に再建されました。

そして 備中国分寺五重塔は江戸時代後期の様式を濃く残す代表的な塔です。

塔のすぐそばに売店があり、当日は かなり暑かったので そこにたむろしてました。おかげで滞在時間が長くなり、出発予定時間が少しおくれてしましいました。

国分寺見学後、桃太郎伝説で名高い吉備津神社の見学に行きました。本殿・拝殿は室町時代初期の代表的建築で「吉備津造り」と称せられ全国唯一の造りとして国宝に指定されています。

また本殿から南の本宮社をつなぐ総延長約400mの回廊や神門は国の重要文化財に指定されています。神社の方にも詳しくご説明頂き、歴史観が広くなりました。

真夏の暑い中ではありましたが、なんとか時間内に収まり、皆無事にもどって来れました。天候にも恵まれ、ほぼ予定通りの見学内容が出来たと思います。最後になりましたが、多くの参加頂いた方々に心から感謝申し上げます。

日時：平成27年7月11日（土） 8：30～19：00

集合：神戸市役所北側花時計前　解散：三宮駅東ラウンドワン前

内容：岡山市・総社市内の国宝・重文、歴史的文化の跡地・公園とその周辺環境の見学

備中高松城跡　清水宗治首塚・辞世の歌碑・蛙ヶ鼻堰堤跡・資料館

宝福寺　三重塔（重要文化財）・仏殿・梵鐘（県重文）

備中国分寺五重塔　五重塔（重要文化財）・本堂・大師堂・山門・備中国分寺跡

吉備津神社 本殿と拝殿（国宝）・御釜殿（重要文化財）・回廊・北随身門（重要文化財）

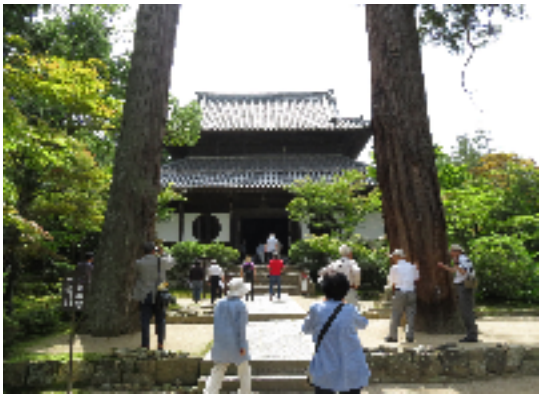
参加費：会員－4500円 ・ 非会員－6000円

参加人数：会員34名・非会員4名　合計38名

備中高松城 本丸跡

蛙ヶ鼻堰堤跡

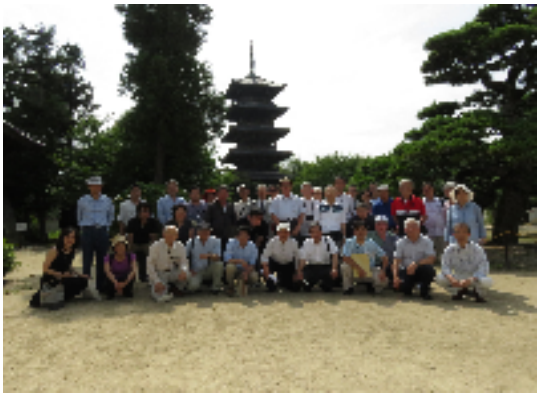
宝福寺 三重塔



宝福寺 仏殿

備中国分寺 本堂

吉備津神社 回廊



備中国分寺 五重塔

吉備津神社 本殿拝殿